

事業計画書

① 団体名	特定非営利活動法人だっぴ
② 事業名	学校と社会をつなぐ協力のプラットフォーム
③ テーマ区分	<p><b>*いずれかにチェックし、指定テーマの場合は番号を記入</b></p> <input checked="" type="checkbox"/> 指定テーマ(番号: 2 ) <input type="checkbox"/> 自由テーマ
④ 補助回数	<p><b>*同一事業における補助回数(年数)について、いずれかにチェック</b></p> <input type="checkbox"/> 1回目 <input checked="" type="checkbox"/> 2回目 <input type="checkbox"/> 3回目(経過措置) <input type="checkbox"/> 4回目(経過措置)
⑤ 現状及び課題	<p>当法人のアンケート調査によると「より納得した進路選択(生き方)をするために、できることに取り組んでみたいと思う」という質問に肯定的(「とてもそう思う」「まあそう思う’)な回答をした中高生は約8割であった。この「できること」とは「ロールモデルを見つける」「自分の得意やできることを伸ばす」ような体験であると定義できる一方、そうした体験は学校単体で用意できるものではなく、社会との連携が必須である。</p> <p>学校と社会の連携においては「できる先生はできるが…」という属人化の課題や実行コスト(時間・費用・実行体制)の問題をクリアできないなどの課題がある。こうした課題を解決できる、協力のプラットフォームを形成する。</p>
⑥ 事業目的	<p>下記目的を達成する「協力のプラットフォーム」をつくる</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 高校生が大人や社会とつながりながら、自己成長を通して自分の可能性を広げる。</li> <li>・ 高校生が自分の関心を出発点に探究・挑戦できる地域をつくり、地域の人材育成力を底上げする。</li> </ul>
⑦ 事業内容	<p><b>事業項目1</b></p> <p>※位置づけ(狙い)、内容、受益者(対象者)、実施地域、実施方法など</p> <p><b>放課後を活用したキャリア探究</b></p> <p>ねらい 大人との交流により、高校生が自分の関心を定め、次なる実践につなげる。</p> <p>概要 対象：高校生 実施校：①矢掛高等学校②鴨方高等学校③倉敷鷺羽高校 会場：学校の空き教室など 所要時間：1～1.5時間/回 頻度：月2回程度 ※月1回は場の設定のみ</p> <p>内容 毎回設定されるテーマに関連する大人を招聘し、高校生(自由参加)は大人との対話を通して自分の次なる実践や進路につながる「問い」をつくる。高校生(有志)が実行委員となり、テーマ設定や会の運営を担う。スタッフは高校生に伴走。</p>
	<p><b>事業項目2</b></p> <p><b>地域活動・企業活動への参加</b></p> <p>ねらい 企業・団体での活動体験により、自分のできる/得意かもしれないことや関心分野の把握など、自己成長・自己理解を進める。</p> <p>概要 対象：高校生 (主に①矢掛高等学校②鴨方高等学校③倉敷鷺羽高校)</p> <p>会場：企業・団体の事業所 所要時間：1日～数日(企業・団体による) 時期：①放課後②土日③長期休暇</p> <p>内容 高校生(自由参加)が、地域の大人たちの仕事や社会活動などに参加する。主な対象は、事業1に参加したりして「自分の問い」を暫定的にもっている高校生を想定。</p>

	<p>事業項目3 WEBメディア「生き方百科」</p> <p><b>ねらい</b> 様々な大人を「生き方」の観点からアーカイブし、より多くの中高生や学校教員が地域人材にアクセスできることで、読者の中高生が自分の生き方を考えたり、学校教員が授業に招聘するなど、地域人材と教育活動をつなげる。</p> <p><b>概要</b> 対象：中高生・学校教員 会場：オンライン</p> <p><b>内容</b> 事業1で関わった大人の記事をWEBメディア「生き方百科」にて作成・公開する。インタビュアーは大学生が担当し、ライターはプロ（セミプロ）に発注する。</p> <p><b>*天災地変、感染症等で事業が実施できない場合の対応</b> オンラインに切り替える</p>
<p>⑧事業の条件及び アピールポイント</p>	<p><b>先進性、先駆性、独創性</b> ・ 高校生が学びの場をつくる主体となる ・ 学校と社会（企業・団体・地域人材）が協力しやすい仕組みをつくる</p> <p><b>備中地域への波及効果</b> 高校生とのつながりをつくることで、将来的な就職や地域活動への参画など、これから社会で活躍できる人材育成を促進する。</p> <p><b>県民局との協働による相乗効果</b> ・ 他の高校でも事例の横展開ができる。 ・ 企業や地域団体など関係各所との連携において、「協働提案事業」であることが信用性を担保する。</p> <p><b>その他、団体の持つ専門性やノウハウ等</b> ・ 高校生の活動伴走 ・ 学校関係者との協働方法</p>
<p>⑨今年度に 期待される成果 ・効果  (短期アウトカム)</p>	<p><b>県民(対象者)</b> <b>高校生</b> ・ 社会とつながりながら自分の問いをもつことができる。 ・ 自分の関心のある分野について探究や挑戦ができる。 ・ 実践を通して自分のできることや得意かもしれないことなど自己理解を深める。</p> <p><b>団体</b> <b>学校</b> ・ 社会（地域人材）との協働方法が増える。 ・ 協働できる地域人材のリストが増える。</p> <p><b>備中地域</b> ・ 教育活動の関わりしろ（学校との連携方法）が分かる。 ・ 高校生に地域に生きる魅力を伝えることができる。</p>
<p>⑩将来的に 期待される成果 ・効果  (中・長期アウトカム)</p>	<p><b>県民(対象者)</b> <b>高校生</b> ・ 自分のできるかもしれないことや得意かもしれないこと、関心分野を把握するなど、自己理解を深める。 ・ その自己理解をもって自己決定できる。</p> <p><b>団体</b> <b>学校</b> 膨大なコストを必要とすることなく、社会とつながる学びがつけられている。</p> <p><b>備中地域</b> 地域で育った高校生が企業に就職するなど、これからの地域を支える人材が生まれる。</p>

⑪今年度の  
成果目標と  
評価指標

成果目標1			
自分なりの「問い」をもつ高校生を増やす			
評価指標・測定方法	数値目標		
	現状	今年度	(参考)R6年度
放課後キャリア探究の参加者数	延べ100人	延べ400人	延べ1000人
【評価指標】 「これからやってみたいこと・学んでみたいこと・興味が出たこと」の記入者率 【測定方法】 振り返りシート 「これからやってみたいこと・学んでみたいこと・興味が出たこと」を記述する	98%	90%	90%
成果目標2			
とにかくやってみる経験から、自分のできることや得意なこと、好きなことや関心のあることをメタ認知できる高校生を増やす			
評価指標・測定方法	数値目標		
	現状	今年度	(参考)R6年度
【評価指標】 自分なりの問いを出発点に「とにかくやってみる」行動に移せる 【測定方法】 ・ 事業2「地域活動・企業活動」の参加者数 ・ アンケート調査(事業2以外のアクションを把握)	5人	延べ100人	延べ200人
【評価指標】 「これからやってみたいこと・学んでみたいこと・興味が出たこと」の記入者率 【測定方法】 振り返りシート 「これからやってみたいこと・学んでみたいこと・興味が出たこと」について記述する	80%	90%	90%
成果目標3			
地域に生きる魅力に触れる高校生を増やす			
評価指標・測定方法	数値目標		
	現状	今年度	(参考)R6年度
【評価指標】 「地域に生きる人の魅力を感じることができた」の肯定的回答率 【測定方法】 アンケート調査	約6割 ※参考値「私は地域に愛着を感じている」の回答者	70% ※参考値「地域の大人の生き方を知ることができた」の「とてもそう思う」回答者	80%

⑫中・長期的な成果目標	<p>高校生</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 自分のできるかもしれないことや得意かもしれないこと、関心分野を把握するなど、自己理解を深める。</li> <li>・ その自己理解をもって自分の進路を選択できる。</li> </ul> <p>地域社会</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 地域で育った高校生が企業に就職するなど、これからの地域を支える人材となる。</li> </ul>
⑬事業展開の予定	<p>中学生・高校生だっぴを開催している備中エリア（もしくは岡山県内の15市町村30校）の学校にて、事後プログラムとして導入していく。</p>
⑭役割分担	<p>団体</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ プロジェクトマネジメント</li> <li>・ プログラム企画運営</li> <li>・ 協働する企業や個人との連絡調整</li> <li>・ WEBメディア「生き方百科」の運営</li> </ul> <p>県民局</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ （当法人だけでは関係性を構築し難い）団体・機関への依頼</li> <li>・ 県民局域内への情報発信</li> </ul> <p>その他の連携・協力団体（組織・団体名：一般社団法人moko'a、一般社団法人やかけ小中高こども連合、一般社団法人ONDO）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 高校生の募集/声かけ</li> <li>・ プログラム企画運営</li> <li>・ 協働する企業や個人との連絡調整</li> </ul>

<記入上の注意事項>

- 1 各項目は、簡潔かつ明瞭に記入してください。
- 2 「④補助回数」欄の3回目及び4回目は、経過措置規定を適用した上で、令和2年度事業に採択された事業を令和3年度以降も継続実施している場合のみ選択ができます。
- 3 「⑤現状と課題」欄は、事業実施の要因となる地域課題や問題点、社会的背景等について記入してください。なお、根拠となる統計データや当事者の声などがあれば、それも示してください。
- 4 「⑥事業目的」欄は、事業を通じて実現したいこと、目指す将来的な姿(社会、経済、生活、環境等)について、「⑤現状と課題」、受益者(対象者)等を踏まえて記入してください。
- 5 「⑦事業内容」欄は、課題解決や事業目的における位置づけ(狙い)とともに、内容、受益者(対象者)、実施地域、実施方法などを事業項目ごとに具体的に記入してください。また、天災地変、感染症等で事業が実施できない場合の対応(代替案の検討、事業縮小、事業中止等)についても併せて記入してください。なお、事業項目数は適宜追加いただいて構いません。
- 6 「⑧事業条件及びアピールポイント」欄は、事業条件としている広域性又は先進性、先駆性と協働による相乗効果に関すること、団体の持つ専門性やノウハウ等のアピールポイントについて具体的に記入してください。なお、先進性、先駆性は、他地域での先進例や成功例等もあれば、それも参考として記入してください。
- 7 「⑨今年度に期待される成果・効果」欄は、事業実施により得られる今年度の利益や変化等について記入し、「⑩将来的に期待される成果・効果」欄は、事業を継続して行うことで、将来的に得られる利益や変化等について記入してください。
- 8 「⑪今年度の成果目標と評価指標」欄は、今年度事業で目指すところ(短期の成果目標)を個別・具体的に3つ程度記入するとともに、事業を評価するための指標と、実施前(現状)と実施後(目標)の数値を記入してください。また、事業を継続される場合は、翌年度若しくは数年後(目標)の数値も参考として記入をお願いします。なお、具体的な数値が得られないもの(定性評価)についても、「何割程度の回答が得られる」などのように、できるだけ数値化し、状態の変化を測るよう努めてください。
- 9 「⑫中・長期的な目標」欄は、事業を継続、段階的に拡充するなどし、中・長期的に目指すところ(中長期的な成果目標)について、具体的に記入してください。
- 10 「⑬事業展開の予定」欄は、「⑤の事業目的」や「⑫中・長期的な目標」を踏まえ、翌年度以降に実施する予定の事業内容、組織体制、財源確保の手法、事業継続の工夫等について記入してください。
- 11 「⑭想定される役割分担」欄は、提案団体が果たそうとする役割、備中県民局やその他の連携・協力団体に期待する役割を「⑧事業の条件、アピールポイント」を踏まえ、それぞれ具体的に記入してください。
- 12 記入箇所が不足する場合は、必要に応じて行挿入等を行ってください。

## 日 程 計 画 表

年月	事業内容	場所	規模等
4月	<b>【共通】事業の全体設計</b> ・学校との打合せ ・年間スケジュールの作成 ・運営体制を整理 ・専門家（アドバイザー）相談 ・企画運営メンバーのスタッフィング  <b>【共通】企画運営メンバーのキックオフ</b> ・目標の共有や運営方針の確認 ・運営手引き（試案）の作成	学校 or オンライン	3校
6月	<b>【事業1】開始</b> 招聘する大人：1人/回×3校 参加高校生：5～10人/回×3校 ・月1回は場の設定のみ <b>【事業3】開始</b>	学校  オンライン	月2回/校 (※8月除く)
8月	<b>【事業2】開始</b>		
11月	<b>【共通】中間点検</b> ・3校の比較検証 ・今後（今年度）の目標の再設定 ・専門家（アドバイザー）相談		
1月	<b>【共通】次年度計画の策定</b>		
2月	<b>【共通】事業終了・報告書整理</b>  <b>【事業1】</b> 実施回数：48回（3校合計） 招聘する大人：24人 参加高校生：延べ400人（3校合計）  <b>【事業2】</b> 実施回数：5回 参加高校生：20人  <b>【事業3】</b> インタビュー数：24人（事業1で関わった大人）		

## &lt;記入上の注意事項&gt;

- 1 事業実施年度の年間スケジュール案を記入してください。
- 2 「場所」欄は、想定される実施場所を記入してください（例：〇〇市文化センター、△△市内）。不明な場合、特定できない場合等は未記入で構いません。
- 3 「規模等」欄は、参加予定人数、印刷部数等数量的に想定される量を記入してください。不明な場合は未記入で構いません。